

# 仲間と困難に立ち向かう『アドベンチャーキャンプ』

【3rdキャンプ】11月30日（土）～12月1日（日）1泊2日

【目的】 年3回のキャンプを通して、仲間とともに困難を体験し、話し合ったり支え合ったりすることで、主体的・自主的・前向きに「生き抜く力」（竹のようにしなやかな心）を育む。また、本事業を実施することで、困難に直面した時に主体的・自主的・前向きに「生き抜く力」（しなやかな心）を育むプログラムを開発する。

【参加者】 小学生5年生～中学生1年生 18名（男性11名 女性7名）

## 1日目

10:00 はじめの会 13:30 TAPA  
10:15 アイスブレイク 18:40 ソロ活動  
11:30 グループワークA 19:10 語らナイト  
20:00 グループワークB 決意発表

## 2日目

9:00 TAP B 14:30 まとめの活動（ソロ）  
11:00 グループワークB 15:30 終わりの会 決意発表  
13:00 ソロ活動  
14:00 まとめの活動

## 1日目 はじめの会, アイスブレイク グループワーク A



メインキャンプを一緒に過ごした仲間と久しぶりに出会い、みんな笑顔で再会を喜んでいました。久しぶりの再会の後、みんなで今回のキャンプのテーマについて確認した。その後、夏のキャンプから帰った後の日常生活について、グループごとに伝え合った。仲間の日常での色々な困難について考えていた。

## TAP A



午後からは、6mの高さから飛び出すチャレンジをした。仲間の命綱を握る緊張感と、上に立った時の緊張感。仲間からの期待に応えようとしながらも、自分の恐怖心と対峙して「やっぱり飛べない」といった声も何度もあった。その中で、下から上の仲間への「大丈夫！」の声かけや、上と下で「みんな頼むよ！」「任せて！」の掛け合いなど、みんなが仲間と一緒に困難に立ち向かっていた。

## ソロ活動

## 語らナイト, グループワーク B



夜は、まず今日の活動を一人でふり返った。その後、グループごとに、ろうそくの炎を中心にそれぞれが感じた事を伝え合った。今日でお別れの仲間がいたので、旅立つ仲間の決意表明を聞いた後、みんなでお別れを惜しんだ。

## 2日目 TAP B



2日目は、後ろにいる仲間の方へ背中から倒れて、支えてもらったり、支えたりする体験をした。その後、枠の中に張り巡らされたロープの間を、全員でくぐる課題にチャレンジした。どこの隙間を通るか意見をぶつけ合ったり、全員で仲間を持ち上げたり、みんなが一糸懸命に課題に立ち向かっていた。

## グループワーク B, ソロ活動



グループで午前中の活動で感じた事を伝え合った後、午後から個人で自分のことや仲間とのことを振り返った。

## まとめの活動, 終わりの会



最後は、グループごとに本キャンプと困難について、ふり返りを行った。その後、終わりの会で一人ずつ日常生活でチャレンジしたいことを発表し、テーマソングを歌って解散した。

【参加者の声】アンケートには、「困難にあってもくじけない力があった」「私が成長できるきっかけを与えてくれました。そのおかげで、日常生活でも困難を乗り越えようとする自分が出てきました」「今まで家でなまけていたけれど、新しい友達を作れたりできてメリハリをもって行動する事ができた」「たくさんの友達と困難に立ち向かえたことが楽しかったです。これからも友達を大切にしていきたいです」といった、感想が書かれていた。

【成果】困難に負けない力として本キャンプで効果を期待できると仮定した項目7つのうち、キャンプ中に5つの項目で上昇が見られ、キャンプ後、一か月後に行ったアンケートでも、3項目が高い数値だった。

【課題】高められると仮定していた「自尊感情」の項目がキャンプ中一度も数値が上がりなかった。プログラムと仮説を検証する。